

# JWTC NEWSLETTER

Vol.30 No.3 December 2010

## 30th JWTC 創立30周年 記念講演会&パーティー開催

JWTC 創立 30 周年を祝う講演会とパーティーが、11 月 17 日（水）、京王プラザホテルにおいて開催されました。今年の会のテーマ『Next Door 2010 未来へつなごう 旅のしあわせ』のもと、来賓 51 名、OG16 名、会員 44 名の計 111 名の方がご参集くださいました。



船山龍二様による記念講演

第 1 部では、(株)ジェイティービー相談役の船山龍二様を講師に迎え、「旅のしあわせ」と題した記念講演会が催されました。

海外旅行が自由化された 1964 年から現在までの主力分野の成長と変遷（海外旅行から国内インバウンドへ）を海外旅行者、国内旅行者、訪日外国人旅行者の推移とご自身の経歴と照らし合わせながら、また、ともに旅行業に携わってきた仲間やこれまで出会ってきた業界以外の人々の名刺 27,000 枚を 9 つに分類し“旅行商品の提供はどんな商品を・誰と協力して・どんな立ち居地で売るのが重要”と、“変わりゆく旅行業界で長く働くことの重要性”を船山様ならではのユーモアを交えながらお話くださいました。

次に、旅の教訓や旅の力から学び取るものを振り返るなかで、「ライフステージの節目に旅行することは個人を育てる種となる」と家族旅行や“旅育”の有意性、旅を提供する喜びを解説くださいました。

「旅のしあわせ」とは、旅する側にも旅を提供する側にも当てはまるフレーズであると、会員一人ひとりが再認識した素晴らしい講演でした。

第 2 部の周年記念パーティーは、「旅は人を元気にします。お客様の元気は私たち旅行業界を幸せにします。私たちもその元気、幸せを次の世代へ継いでいけたらいい。今日は創立 30 周年を祝いましたが、次の 40 周年を見据えて業界を盛りたてていきたい」という戸井川裕美子会長の開会の辞で幕を開けました。

今年設立 20 周年を迎えた名古屋支部を代表して、草次昌子名古屋支部長から喜びの報告もありました。

来賓を代表して、国土交通省観光庁 観光産業課長の鈴木昭久様から「30 年の長きにわたり旅行業の発展に尽くされ、敬意を表したい。この 30 年ほどの間に海外への旅行者はあつという間に 1,000 万人を大きく超え、今では来日外国人の受け入れが経済成長戦略の柱となる時代に様変わりして、日本の魅力を外国のお客様に見ていただくよい機会がや



鈴木様からご祝辞を

ってきた。また、たまかな観光地をめぐる物見遊山的な旅行よりも、地域の魅力や人々の心、食事など旅本来の姿を楽しむ時代がやってきたと思う。そういった中で女性の感性、行動力が今の日本を支えている。日本が世界に誇れる素晴らしい国であるということ、また多くの日本人が世界を経験できる場作りを力尽くしていただきたい」と身の引き締まる祝辞をいただきました。

引き続き、海外視察から戻られたばかり、お忙しいスケジュールを縫って駆けつけてくださったトラベル懇話会会長林田建夫様（(株)エヌオーイー 代表取締役）からユーモアたっぷりのご挨拶をいただき、乾杯となりました。



林田様のご発声でご乾杯！

会の後半では JWTC 創立以来の歴代会長の紹介があり、初代会長・安西美津子氏より激励の言葉を頂戴しました。また、設立発起人の第一人者多田幸子様から創立当時のご苦労など貴重なお話を聞くことができ、こうした方々に支えられての30年と、会員一同思いを新たにしました。

友好関係のある中国婦女旅游委員会からの祝電が披露されたほか、多くの来場者が各々設立30周年を祝い、活気にあふれる華やかで和やかな会となりました。

伊藤聡子 (株)ピコ

## ■お送りいただいた祝電

尊敬する日本旅行業女性の会 戸井川裕美子会長  
尊敬する日本旅行業女性の会の皆様および友人の皆様

このたびは、日本旅行業女性の会30周年を心よりお祝い申し上げます。

貴会創立30周年以来、中日両国の女性の交流と理解を促進するために、相互に訪中、訪日を重ね、両国の女性友好に重大な貢献を果たしてきたことを思い返します。

2008年5月の四川大地震の際には会長自ら会を代表して北京を訪れ、被災地区に寄付金を寄せてくださったことに、一同深く感動し、感謝いたしました。

末筆になりましたが、日本旅行業女性の会30周年記念パーティーのご成功を心からお祈り申し上げ、ご在席の皆様のご健康とご活躍を念じております。

中国婦女旅游委員会

日本旅行業女性の会 会長 戸井川裕美子 様

創立30周年を祝し、心よりお喜び申し上げます。  
関係各位の並々ならぬご努力に敬意を表し、  
パーティーのご成功を祈念いたします。

株式会社 旅行新聞新社  
代表取締役 石井 貞徳

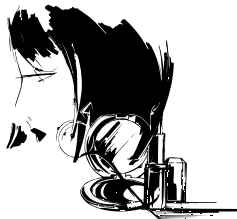


歴代会長の皆さん(右から初代・安西さん、2代・鈴木さん、4代・西鳥羽さん、5代・木島さん、6代・長野さん、7代・戸井川さん)



## ●夏の特別勉強会●

# ハツラツ元気に見える メイクのしかた



講師 仁くすのき氏

トータルビューティアドバイザー  
トータルビューティサロン『仁くすのき工房』代表

女の子なら誰でも、幼い時分に母親の化粧台の引き出しにあるメイクアップ用品に憧れ、時にはナイショで使ってみたりした記憶があると思う。彼女たちにとって、お化粧はキレイな大人になるため(キレイな大人であり続けるため)の魔法であり、一方、社会で働くための戦闘服の一種なのだと思う。

シミ、シワ、タルミ、くすみ……なんだか気になる今日この頃、専門家のお話をぜひうかがいたいと思かけた。

今回のテーマは、ズバリ「年齢を重ねたからこそ美しい その輝きを引き出すメイク」。つまり、40代、50代の女性が元気で若々しく見えるメイクを教えていただけるとのことだった。

講師の仁くすのき先生は「それぞれの年代の《キレイ》のためのメイクがあるはず」という理論を基に幅広く研究をされ、また講演や美容セミナー、化粧品開発にと活躍されておられる、まさに、私たちの救世主!!

戸井川会長をモデルに、眉、アイメイク……という手順で、段階的、具体的にお話が進んでいく。先生の繊細でなめらかな指と手の動きに、会員たちはなんだかいつもより好奇心旺盛で積極的な感じ。

衝撃的だったのは、年齢を重ねるにつれて唇が内側に入り込んで薄くなり、これが老けた印象を与えるということ。先生が名前を上げた何人かの女優さんを思い浮かべると、確かに唇がふっくらして、若々しく見えるという共通点があった。



## ●当日参加できなかった方々のための「お化粧の実践ポイント」

- ★保湿とベタつきは別である。昼は化粧水と目まわりの美容液でOK。夜は化粧水と乳液等をきちんとつける。
- ★ベースメイクは、乾燥や光老化を引き起こす紫外線から「肌を守る」効果の成分が含まれているものを選ぶ。また、くすみや毛穴、小じわなどの肌の凹凸を埋めてカバーできる下地が望ましい。
- ★ファンデーションは、「肌がキレイに見える」色と艶を長時間キープできるものを選ぶ。
- ★アイシャドウは、アイ・ホールには明るい色を使うほうがベター。
- ★目のフレームラインは濃いシャドウで目尻をくっきりと。
- ★眉はあまり細くしない。
- ★ハイライトは、目の下のクマができるあたりまで、ラメの入っていない「白っぽいオレンジ」でフワッと覆うように入れる。
- ★頬紅はブラシを上向きにしてワイパーのように使ってなじませる。
- ★口紅は唇がふっくらと見えるように引く。唇と肌の境のくすんだ部分をファンデーションなどでぼかしておく、より効果的である。

今までの化粧時間に教えていただいた手順を加えると、15分は早起しなくてはならない。いつでもキレイでいたいという思いと、「後5分寝かせて!」の思いの間で、葛藤の毎朝が始まるのだろう。「灰になるまで女でございますから……」ネ。

近藤多津子 エムオーツーリスト(株)

## ■参加された皆様のご感想

- 美しくなるために練習しなければならないという先生のお言葉が印象的でした。
- 年齢に合わせたメイク術はアンチエイジングの強い味方!年齢の進行はできなくても、メイクで若々しさを保って前向きに。
- 目元、口元を整えるとイキイキする。美しくなるのは素晴らしいこと。





## 庭園へ行こう！～自然を楽しむ贅沢なひととき～

長野 久絵

公益財団法人東京都公園協会 公園事業部 文化財庭園課 観光振興担当

公園協会に職を得て以来4年、正月に浜離宮恩賜庭園で開催される「諏訪流放鷹術の実演」を担当しているため、私の仕事初めは1月2日である。仁徳帝の御世に始まったとされる鷹狩りは天皇や公家、そして武家によって守り育てられ、徳川幕府のもとで完成したといわれている。明治期には天皇家に受け継がれ、戦前までは浜離宮も実際に宮内庁の鴨場だったこともあり、現在は民間の鷹匠に伝承されている放鷹術をこの庭園で披露しているのである。正月のハイライトは隣接する電通本社ビルの屋上から鷹を放ち、庭園内の鷹匠の腕に据える技である。これに立ち会うため、私は、飛翔する鷹と鷹匠氏とともに毎年屋上に上っている。ここ数年の正月は曇りつない晴天で、頭に雪をいただいた富士山がくっきりと見える。目の前には鋭い眼差しの鷹、とすれば、正月の縁起物にはあとひとつ…しかし、これは夢ではなく現実の世界である。青空に吸い込まれそうな高いところの上で下界を見ていると来し方行く末が浮かんでくるのである。

昭和52年、入社2年生の初欧州出張はパリでもなければロンドンでもなく北欧三国の旅行客に混じってチャーター機



2010夏 軽井沢にて

に乗り、コペンハーゲンからクレタ島への欧州型バカンス体験である。同乗の北欧の人々は3週間以上だが、私は1週間の滞在型である。機内アナウンスはノルウェー語だけで、隣に座った老婦人が要点を英語で伝えてくれるというやや不安な旅立ちだった。

イラクリオンに近いプライベートビーチを持った4星ホテルでスタートした私の滞在型1日目は北欧人に倣って日がな一日ビーチに隣接するホテルの芝生でごろごろである。見回すと人々は本を読んだり、昼寝をしたり、午前中は仰向けに、昼食後はうつ伏せになりひたすら陽に焼ける。しかし、当時23歳、初めての欧州である。初日は時差ボケもあり、ごろごろできたが、1日で飽きてしまい、翌日からは一人で精力的に島内観光を試みた。他のホテルを見学したり、バスツアーを利用してクノッソス宮殿をはじめ、大神ゼウス誕生の洞窟などギリシャ神話の世界をくまなく見て回ったものである。

帰国後、クレタ島をはじめ、欧州では馴染みのリゾート（マジョルカ島やシシリ島、カナリア諸島等々）を商品化して新聞広告を行い大々的に売り出したが、ヒットには至らなかった。当時の経営者に先見の明があったというか、時期尚早だったというべきか、とにかくその後30年近い欧州旅行企画担当の貴重な第一歩だった。

さて、バイヤーとしての旅行会社時代から立場を変え、現在はサプライヤーとして旅行会社やホテル、観光案内所に文化財庭園を紹介し、売り込む仕事をしている。外国人観光客の来園促進も職務の中で、外国語でポスターを作成したり、



浜離宮恩賜庭園・大泉水と中島の御茶屋

最近では築地市場と連携を試みたりしている。

東京の文化財庭園は浜離宮恩賜庭園、小石川後楽園、六義園、旧岩崎邸庭園など九カ所あり、内4カ所は三菱創業の岩崎家からの寄付である。今年は大河ドラマ「龍馬伝」の影響で、旧岩崎邸庭園をはじめとする岩崎家ゆかりの庭園が人気で、都内観光のバスツアー企画にたくさん取り入れてもらい入園者数に大きく寄与した。JWTCでも昨年会員部の親睦会で六義園と旧岩崎邸庭園を取り上げていただき、28名の参加者にお楽しみいただいたが、都内に住んでいても初めて訪れたという方が何人もいらした。

会員の皆さん、ぜひとも庭園にお出かけください。京都の庭園と異なり東京は池泉回遊式庭園といい、池の回りを回遊しながら刻々と変わる景色をお楽しみいただけます。梅、菜の花、桜、菖蒲、アジサイ、紅葉と四季おりおりの自然の姿も格別です。手始めに、お正月は浜離宮へどうぞ……私も今年は茄子を懐に忍ばせて……お待ちしております！

さて、今回は名古屋支部から草次さんの登場です！ よろしくお祈りいたします。

## ★新入会員紹介★

会員 No.425

勝村 良子  
(株)日本旅行

1998年日本旅行入社、国際旅行事業部（インバウンド）配属。海外約40カ国の旅行会社と仕事をし「日本の常識＝世界の非常識」を思い知る。2005年外務省出向、在ウクライナ日本国大使館にて広報文化担当二等書記官として勤務し「民の常識＝官の非常識」を思い知る。2008年日本旅行ソリューション営業本部に復帰。「女性の常識＝男性の非常識」がまだまだ根強いことを思い知る。

現在、女性営業担当者活性化プロジェクト担当。セールスウーマンたちのお役に立てればとの一念でJWTCに入会。先輩の皆様方、ぜひお力添えください！



会員 No.426

神谷 由紀子  
ルシオール社 シドニー本社 日本地区代表

ルシオール（Lucioles）社 - シドニー本社の日本地区代表を担当しております。弊社は、2011年を1回目とし、“Blossom Japan”というインバウンド&アウトバウンドを兼ねるラグジュアリートラベル商談会を日本（東京）にて開催いたします。世界と比べると日本の旅行業は大変遅れており、またスピード、アイデアのなさは日本ブランドの価値を更に下げている気がします。女性の意見、視点を生かす場がもっとあるべきだと思う日々です。

JWTCの皆様のご意見等もお伺いし、見聞を広めていきたい存じます。よろしくお祈りいたします。



## ☆☆☆名古屋支部便り☆☆☆

## ■第2回勉強会■

## 最近の留学事情～お子様からシニアまで～

日時 2010年10月21日(木) 於: キャッスルプラザホテル  
 講師 加藤真知子氏 名鉄観光サービス(株) 名鉄観光留学センター センター長  
 境 智美氏 名鉄観光サービス(株)

JWTC名古屋支部 取り扱いの難しい留学・ホームステイに特化し取り組んでいるJWTCメンバーの名鉄観光サービス、留学センター長加藤真知子さんと境智美さんに『最近の留学事情～お子さまからシニアまで』と題し、お話を伺いました。

最近誰でも手軽に行ける時代＝危険度も増しています。出発までに本人のみならず、ご家族とも丁寧なカウンセリングをし、その人の留学を成功させるべく、時には断わることの大切さも必要だとお話しいただきました。



異文化体験は、「語学留学」のみならず「おけいこ・趣味留学」「ボランティア留学」「親子de留学」など体験談も交え、幅広く紹介いただきました。留学を迷っていらっしゃるのであれば「まず行ってください」とお声をかけるそうです。帰国された方々のお顔を見ると、明らかに変わり、生き生きとされています。

留学を成功させるのは、やはり本人次第。チャレンジ精神、自ら発言し行動、目的をもち少しのことではめげないなど、積極的に意欲的に行動の範囲を広げることが成功のひとつと考えます。

鈴木恒子 (株)アドバンス

## 30周年記念行事開催のご報告

多くの皆様にご参会いただき、予想以上の盛会となり30周年を祝うことができました。また、お祝い金、生花のご寄贈、祝電など大変温かいお心遣いをいただきましたこと、感謝申し上げます。会員の皆様には、昨年度より協賛金のお願いをいたしました、大勢の皆様にご賛同いただきありがとうございました。

周年行事を無事に開催することができましたのも、皆様の温かいご支援助とご協力の賜物であり、心よりお礼申し上げます。

JWTC会長 戸井川裕美子  
 JWTC30周年プロジェクト

■2010年11月17日(水) 京王プラザホテルにおいて開催  
 (当日のプログラム、その他詳細はトップ記事をご参照ください)

お祝い金 船山龍二様 (株)ジェイティービー相談役  
 木島榮子様 (JWTC会員・第5代会長/  
 (株)クルーズバケーション代表取締役)  
 生花寄贈 田川博己様 (株)ジェイティービー代表取締役社長  
 JTLN会員ご一同様  
 祝電 石井貞徳様 (株)旅行新聞新社 代表取締役社長  
 中国婦女旅游委員会様

協賛金ご協力 2010年7月20日以降 (敬称略)  
 鈴木 光子・福久 典子・斉藤久美子  
 中村 豊美・長島 弘美・近藤多津子  
 (各一口 5,000円)

協賛金合計額 420,000円  
 2009年度 245,000円  
 2010年度 175,000円

30周年プロジェクト  
 田辺 典子 (座長・副会長)  
 斉藤久美子 (副座長・会員部)  
 近藤多津子 (総務部)  
 福田 和生 (広報部)  
 長野 久絵 (事業部)  
 伊崎留為子 (会員部)

## 2011年総会のご案内

第31回総会を下記の通り開催いたします。

日時: 2011年2月26日(土)  
 14時(予定)より

会場: 東京ウィメンズプラザ  
 (表参道)

\*総会終了後、懇親会を予定しています。  
 詳細は追ってお知らせいたします。

## ◆運営委員会だより◆

## □総務部□

- 30周年記念行事への協賛金納入状況報告  
 協賛金: 計34口 170,000円 (10月13日現在)
- 総会開催日

## □会員部□

- 新入会員について。現在、会員数68名
- 年度途中の入会における年会費をどのようにするか、現在の会員規約にうたわれていないため、次年度の総会で細則追加を予定

## □事業部□

- 勉強会の日程。  
 日時: 2011年1月25日(火)  
 場所: 庭のホテル  
 テーマ: 「JWTCの会員の仕事を知る」
- 総会案内

## □その他□

- 来年度の規約改正と役員選出について

編集  
後記

JWTC創立30周年記念パーティーが無事終了いたしました。

ご来賓、OG、そして現会員の総勢111名の皆様にお集まり頂きました。

大変盛大で良いパーティーだったと、後日ご来賓の方々からお言葉を頂き、会員としてとても誇らしく思いました。

プロジェクトチームの皆様のご準備、ご苦労に心から感謝します。誠にありがとうございました。

先輩方はお着物やドレスに身を包み、凛としていらっしゃられて、仕事を終えてスーツ姿でぱたと駆けつけた(しかも遅刻...)自分が恥ずかしくなりました。

改めて30年の重みを感じたとともに、次の10年を我々現会員が更に盛り上げて行き、40周年記念には正装で挑みたいと思います! (C.K.)